

40.

616-079.3:616.36-008.5;616-079:616-006.4

Ascoli 氏反應ノ癌性, 非癌性黃疸血清ニ對スル鑑別 診斷的價值竝ニ其ノ後ノ Kürten 氏及ビ 七條氏血清癌反應ニ就テ

岡山醫科大學津田外科教室(主任津田教授)

醫學士 横田 浩

其ノ1 Ascoli 氏反應ノ癌性, 非癌性黃疸血清ニ對スル 鑑別診斷的價值

緒 言

Ascoli 等ハ惡性腫瘍患者ハ脂肪代謝異常ガナル爲, 其ノ血清ハ一般ニ膽汁色素ヲ固ク結合スル能力ヲ失ヒ容易ニ溶媒ニ溶解スルト言ヒ, Albers u. Merten (1939) ハコノ Ascoli ノ實驗結果ヲ應用シ, 黃疸血清ノ癌性, 非癌性ノ鑑別診斷ニ資セントシタ。其ノ結果氏等ハ黃疸血清ノ鑑別上價值アリト發表シタ。余ハ我教室入院患者16例ニ就キ本反應ヲ實驗シ, 一部ノ症例ハ疾患ノ經過ト共ニ本反應ノ推移ヲ觀察シ, 鑑別診斷上ノ臨牀的應用性ヲ有スルヤヲ吟味シ, 且本反應ト他ノ2,3臨牀検査トヲ並行的ニ實施シ彼我ノ關係ヲモ觀察シ得タノデ此處ニ報告シ諸賢ノ御參考ニ供サントスル。

實驗方法

早朝空腹時患者ノ肘靜脈ヨリ採血シ之ヲ滅菌乾燥セル小試験管ニ入レ靜カニ放置シ血清ノ分離ヲ待チ, 其ノ1ccヲ採ツテ徑1cm, 長さ約10cmノ滅菌乾燥セル試験管ニ入レ, 純 Äther 2ccヲ加ヘ「ゴム栓」ニテ密栓シ約2—3分間激シク振盪シ, 原法ニテハ振盪直後及ビ2時間後ニ觀察シテ, 膽汁色素ガ Äther 層ニ移行シ黃染シタ場合ニ癌陽性

即チ癌性黃疸血清ト判定スル。非癌性黃疸血清デハ Äther 層ガ黃染シナイト言フ。今余ハ振盪直後, 2時間後, 6時間後, 24時間後ト, 膽汁色素ノ移行状態ヲ少シク詳細ニ時間的ニ觀察シテ見タ,

尚ホ本反應ト同時ニ檢シタ赤血球沈降速度ハ Westergren 氏法ニ依リ, 血清ノ Bilirubin 單位(B單位ト略ス)ハ Meulengracht 氏比色法ニ依ツタ。又血清高田氏反應ノ記載ハ室温3時間放置後, 試験管3本以上ニ絮狀沈澱ヲ生ジタ時之ヲ陽性ト判定シ, 2本ノ場合ハ準陽性(±), 3本ノ時弱陽性(+), 4本ノ時中等度陽性(++) , 5本ノ時強陽性(+++), 6本ノ時最強陽性(++++)ト表シタ。

實驗成績

癌患者6例, 非癌患者10例ニ就キ試ミタ成績竝ニ之ト並行シテ行ツタ2,3臨牀検査ノ所見トヲ對照シタモノヲ一括シテ第1表ニ掲ゲタ。今之等實驗ニ供シタ症例ノ各々ニ就キ所要ノ解説ヲ試ミル。

1) 非癌性黃疸症例

山本例: 約1年前膽囊取出ヲ受ケ瘻孔トナリ膽汁ノ排泄止マズ再入院ス。此約3週間頃ヨリ結膜皮膚ニ黃疸ガ現レタ。糖尿病ノ合併ガアル。入

院時ノ Ascoli 氏反應ハ 24St 後ニ陽性。入院後モ膽汁排出ハ在再停止セズ。黃疸初發時ヨリ約 80 日後デハ、6St 後ニ輕度ニ Ather 層ガ黃染シ 24St 後ニハ明カニ陽性デアツタ。此頃ハ一般狀態稍々衰へ膽汁ノ排出モ増シ黃疸モ少シ著明トナツテキタ。爾後次第ニ腹水ノ滯溜ヲ來シ四肢ニ浮腫ヲ認メ心機衰弱シ來リ黃疸ハ却ツテ輕度トナリ死亡數日前、黃疸初發時ヨリ約 150 日後ニ本反應ハ直後ニ陽性ニ現レテ來タ。

石井例：約 1 年前ヨリ膽石症疼痛發作ガ 20 日置キ位ニアツタ。8 月 1 日右季肋下部ノ痙痛發作ト共ニ 40°C 發熱シ惡感ヲ伴ヒ 2 日後ニハ膽囊部ニ腫瘤ヲ觸レ黃疸モ著明ニナツタ。8 月 5 日入院、既ニ膽血症ノ状態ニアリ翌日救急ニ膽囊瘻ヲ造設シタ。入院時 B 單位 75 ニテ本反應ハ 24St 後 Ather 層ガ稍々黃染シタノミデアツタ。

田邊例：入院 10 日前ヨリ右季肋下部疼痛アリ背部ニ放散シ惡感戰慄ガ續イタ、入院 3 日前ヨリ黃疸、入院時ニハ結膜皮膚共ニ著明ナ黃疸色ヲ呈シ、入院 3 日目ニ救急ニ膽囊瘻ヲ造設シタガ當日術前ニ本反應ヲ檢セルニ 24St デ陽性ニ現レタ。黃疸初發ヨリ 2 週間デアル。術後經過不良デ膽血症様トナリ 45 日目ニ鬼籍ニ入ツタガ、術後 35 日目初發黃疸ヨリ 50 日目ニ本反應ハ 2St 後既ニ陽性ヲ呈シタ。

小橋例：昭和 16 年 3 月最初ノ膽石症様發作アリ翌 17 年夏頃ヨリ屢々發作ガ起リ熱發惡感黃疸ヲ伴ツタ。18 年 3 月 16 日ニ發作、18 日入院。當時結膜皮膚共ニ黃疸色ヲ呈シ 22 日即チ今回ノ黃疸發生ヨリ 1 週間目ニ本反應ヲ檢シタガ 6St ニ陽性ニ現レタ。3 月 25 日膽囊別出術、4 月 28 日全治退院。6 月下旬再ビ惡感ヲ伴ヒ 39°C 發熱シ其ノ後毎日 1 回カカル事ヲ繰返シ、腹痛ハ無イガ輕度ノ黃疸現レ 8 月 23 日再入院、9 月 7 日即チ黃疸初發ヨリ約 70 日目ノ檢査ニテ B 單位 54、Ascoli 氏反應ハ 2St ニテ輕度ノ黃染ヲ見、6St 後ニハ明カニ陽性トナリ、其ノ後黃疸初發ヨリ約 100 日目ニハ

B 單位 92 デアリ本反應ハ 2St 後ニ陽性ヲ呈シタ。

長野例：約 5 箇月前ヨリ輕度ノ黃疸アリ屢々惡感戰慄ト共ニ 40°C ノ發熱ヲ見、膽管炎トシテ入院、當時結膜皮膚ニ輕度ノ黃疸ヲ認メ、B 單位ハ 10、本反應ハ 2St 後陽性ヲ呈シタ。

金高例：約 1、5 年前ヨリ時々膽石症様發作、入院時結膜ニ輕度ノ黃疸、皮膚ハ他覺的ニハ明カナラズ、手術ニ依リ總輸膽管結石ヲ見タ。入院時本反應ハ陰性。

未利例：4—5 年前ヨリ年ニ 2 回位 2—3 日續ク膽石症發作ガアツタ。約半年前ヨリ發作回数ヲ増シ 1 週間ニ 1 度起ル。入院時右上腹部ニ手拳大ノ輪廓稍々不鮮明ノ柔軟性腫瘤ヲ觸レ且結膜ニ輕キ黃疸ガ認メラレタ。B 單位ハ 8.5 デ本反應ハ 24St 後(±)ヲ示シタ。

早野例：入院ノ 10 日前ニ上腹部疼痛、嘔吐、下痢、2 日後ニハ 39°C 内外ノ熱發、惡感戰慄ヲ伴ツタ。其ノ後肝臟部ニ腫脹、自發痛壓痛ヲ覺ヘ又黃疸ガ現レタ。其ノ後血尿、血便、皮下溢血等ヲ認メタガ 2—3 日デ消退シタ。所ガ入院前日再ビ惡感戰慄ト共ニ 39°C 發熱シ肝腫脹著明疼痛中等度ニテ當科入院。右季肋下部ヨリ正中線ニカケ肝腫脹著明壓痛アリ結膜皮膚亞黃疸色ヲ呈シ右眼球結膜下出血ヲ認メタ。即日肝膿瘍トシテ切開排膿。入院翌日ノ血清檢査ニテ B 單位 16、本反應ハ 6St 後(+)ヲ示シタ。切開後 65 日目ニ此部ハ瘻孔トナリ輕度ノ膽汁流出アリ、本反應ハ 2St 後(±)デ 6St 後(+)ヲ示シタ。

小童谷例：入院ノ約 3 箇月前ニ眼險結膜ノ黃染右季肋下部ノ腫瘤ヲ發見サレタ。爾來黃疸輕快セズ又腫瘤モ増大シ吾外科ニ入院シタ。當時右季肋下部ニハ見頭大、柔軟波動性平滑ノ腫瘍ヲ觸レレ線檢査ニテモ胃外性腫瘍デアリ臨牀上特異性輸膽管囊腫ト診斷シ、開腹ノ上囊腫ナルヲ確メ膽囊十二指腸吻合ヲ行ツタ。術後 8 日目ニ本反應ハ 24St 後ニ陽性、B 單位ハ 23 デアツタ。

平木例：入院 6 箇月前ニ第 1 回ノ膽石症様發作

發熱、上腹部疼痛、輕度ノ皮膚黃疸ヲ自覺シタ。
爾來20—30日毎ニ同様ノ發作ガ現レ、入院時皮膚

=輕度ノ黃疸ガ認メラレタ。血清ノB單位ハ22.5、
本反應ハ6St後ニ陽性ヲ示シタ。

第 1 表

姓名	性	年 齡	病 名	赤 沈		清田 高氏 反應	ハイマン ・フア ンベル グ氏 反應		單位 「ピ ルビ ン」	アスコリ -氏反應			黃疸發生 後ノ經過 日數	備 考	
				1St	2St		直接	間接		直 後	2 St 後	6 St 後			24 St 後
山本	♂	54	膽囊別出後瘻孔	75	105	+	+	+	+	+	+	+	Ca 20日	死亡數日前	
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 80日		
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 150日		
石井	♂	62	膽石症	100	130	+	+	+	+	+	+	+	5日	2週間	
田邊	♀	50	"	20	40	+	+	+	+	+	+	+	Ca 50日		
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	1週間	死亡10日前	
小橋	♂	58	膽石膽囊炎 同上術後黃疸再入院時	62	95	+	+	+	+	+	+	+	Ca 70日		
"	"	"	"	74	124	+	+	+	+	+	+	+	Ca 100日	Ca 160日	
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 160日		
長野	♂	63	膽管膽囊炎	72	96	+	+	+	+	+	+	+	?	入院時結膜=輕度ノ 黃疸アリ	
金高	♂	57	膽石症	97	122	+	+	+	+	+	+	+	10日		
未利	♀	58	"	90	133	+	+	+	+	+	+	+	65日		
早野	♂	16	肝膿瘍	85	143	+	+	+	+	+	+	+	10日	Ca 100日	
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	65日		
小童	♀	14	特發性總輸管囊腫	62	110	+	+	+	+	+	+	+	Ca 100日	Ca 2週間 Ca 30日 Ca 60日 Ca 90日 Ca 2週間	
平木	♂	59	膽石症	107	120	+	+	+	+	+	+	+	Ca 2週間		
本郷	♂	65	結腸癌術後肝臟轉位	70	102	+	+	+	+	+	+	+	Ca 30日		
本井	♂	42	膽管癌	33	70	+	+	+	+	+	+	+	Ca 60日	Ca 90日	
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 90日		
井上	♂	47	膽囊癌、癌性腹膜炎	24	50	+	+	+	+	+	+	+	Ca 2週間	他覺的ニ黃疸ヲ見ズ 死亡數日前	
赤澤	♀	63	膽囊癌	74	99	+	+	+	+	+	+	+	3日		
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	78日	Ca 2週間 Ca 30日	
御船	♀	53	"	72	98	+	+	+	+	+	+	+	Ca 2週間		
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 30日	Ca 40日 Ca 60日	
寸村	♀	64	"	69	110	+	+	+	+	+	+	+	Ca 40日		
"	"	"	"	/	/	+	+	+	+	+	+	+	Ca 60日	死亡1週間前	

2) 癌性黃疸症例

本郷例：昭和16年4月横行結腸癌ニテ腸切除
ヲ受ケタカ11月20日頃ヨリ輕度ノ黃疸、漸次増
強シ、12月中頃ヨリ食後嘔吐、同時ニ右季肋下部
膨隆シ12月24日再入院シタ。皮膚粘膜炎共ニ強度
ノ黃疸色ヲ呈ス、開腹ニ依リ肝轉移ヲ確認シタ
ガ、術後創面ヨリノ出血止マズ翌日鬼籍ニ入ツ
タ。入院時本反應ハ直後ニÄther層ガ極メテ輕
度ニ黃染シ2Stニ明カニ陽性トナツタ。黃疸初發
時ヨリ約1箇月目デアル。

石井例：昭和17年10月中頃ヨリ右季肋下部ニ
毎日針ヲ刺ス様ナ輕イ疼痛アリ又胃部膨滿感吞酸
ガ時々アツタ。12月3日ヨリ輕度ノ黃疸、此頃ヨ
リ疼痛ガ背部右肩胛部ニ放散シ出シタ。18年1月

30日ニ膽石症黃疸ニテ當科ニ入院。右季肋下部ニ
肝緣ヲ2横指ニ觸レ結膜皮膚共ニ著明ノ黃疸アリ
皮膚ニ搔痒感ヲ訴ヘタ。肝機能モ中等度ニ犯サ
レ、胃液ハ過酸症ヲ示シ、十二指腸 Sondeニヨ
リ膽汁ノ排泄ナク、血清癌反應ハ Kürten 氏煮沸
法七條氏乾燥像共ニ陽性、本反應ハ2St後極メテ
輕度ニÄther層ガ黃染セル程度ヲ6St始メテ陽
性トナツタ。開腹ニヨリ膽管癌ナルヲ知ツタ。膽
囊胃吻合ヲ行フ黃疸次第ニ輕快シ、入院時B單位
92、術後23日目ニハ25ニ低下シ、同時ニ本反應
ハ6St後ニ陽性ヲ示シタ。黃疸初發時ヨリ約3箇
月ヲ經過シテ居タ。

井上例：入院3箇月前ヨリ上腹部膨滿感、疼痛、
食思不振、次第ニ瘦削シ、入院3日前ヨリ急激ニ

黄疸ガ現レタ。臍部ヲ中心トシ驚卵大ノ柔軟性腫瘍ヲ觸レタレ線所見ニヨリ胃外性腫瘍ナルヲ知リ又諸種臨牀検査ノ結果肝及ビ膽管癌ト考ヘタ。血清瘧反應ハ Kürten 氏法陽性、七條氏法中間型、本反應ハ 2St 後 6St 後共ニ極メテ淡キ Äther 層ノ黄染ヲ見タノミデ 24St ニ始メテ陽性ト認メラレル程度デアツタ。術後診断ハ膽囊癌腹膜轉移デアツタ。

赤澤例：約 3 箇月前輕キ下腹痛ヲ覺ヘタガ、數日後ニハ右側腹部ニ疼痛現レ、38°C 餘熱發シ翌日北山内科ニ入院シ右季肋下部ニ超驚卵大ノ腫瘍ヲ認メラレ小切開ヲ受ケ多量ノ排膿ヲ見、膿汁ニハ大腸菌ガ證明サレタ。其ノ後排膿續キ、發病 3 箇月目ニ化膿性膽囊炎トシテ當科ニ收容サレタ。入院時他覺的ニ黄疸ハ證明サレズ血清ノ B 單位 12 デ同時ニ檢シタ Ascoli 氏反應ハ 24St 後ニ僅ニ Ätoer 層ガ黄染シタ。入院 8 日目ニ開腹セルニ膽囊癌ナル事ガ解ツタ。術後 8 日目急激ニ著明ナ黄疸ガ現レ、其ノ 3 日後 B 單位ハ 78 ニ上昇シタガ本反應ハ僅ニ 24St 後ニ陽性ヲ示シタニ過ギナカツタ。數日後鬼籍ニ入ツタ。

御船例：7, 8 年前ヨリ食後心窩痛、1 箇月前ヨリ胃部不快感、皮膚搔痒感、約 2 週間前ヨリ黄疸、臍ノ右上方ニ疼痛アリ臍石症トシテ内科ニ收容、後我外科ニ轉科、皮膚ハ中等度ニ黄褐色ヲ呈シ、血清ノ B 單位 24 デ本反應ハ 24St デ弱陽性ヲ示シタ。開腹シタ所膽囊癌デアツタ。術後 10 日目即チ黄疸初發時ヨリ 1 箇月後ニ本反應ハ 6St 後弱陽性、24St 後明カニ陽性ヲ示シタ。

寸村例：入院前約 1 箇月頃ヨリ右季肋下部ニ疼痛、黄疸ガ現レ次第ニ増強シタ。入院時皮膚ハ密柑色ヲ呈シ右肋弓下 4 横指徑ニ肝ヲ觸レ其ノ内方ニ膽囊腺ノ腫瘍ヲ觸知シタガ體温ハ正常ヲ示シタ。1 週間後ニ本反應ハ 2St 後陽性ヲ示シ B 單位ハ 121 デアツタ。9 日目臍石症疑診ノ下ニ開腹シ膽囊癌ナルヲ知ツタ。術後 18 日目即チ初發黄疸ヨ

リ 60 日本反應ハ直後明カニ陽性ヲ示シタ。其ノ後 1 週間ニシテ鬼籍ニ入ツタ。

總括竝ニ考按

黄疸ヲ有スル患者 16 名ニ就キ、其ノ一部ハ經過ヲ追ツテ Ascoli 氏反應ヲ觀察シテ見タ。其ノ結果癌患者 6 例 10 回ノ検査ニテ直後陽性ニ現レタモノハ僅カ 1 例 1 回デ、膽囊癌(寸村例)ニテ初發黄疸ヨリ 60 日ヲ經過シ死亡 1 週間前採血シタモノデアアル。他ノ 1 例デ弱陽性ニ認メラレタ。2St 後陽性ハ 2 回即チ先ノ寸村例ノ初發黄疸ヨリ 40 日目ノ時ト、結腸癌術後肝轉移ヲ來シタ本郷例ノミデ他ニ弱陽性ト認メラレタモノガ 2 例 2 回アツタ。從ツテ原法ノ判定ニヨルト 2 例 3 回陽性デアツタニ過ギナイ。非癌性黄疸患者 10 例 16 回ノ検査ニテ直後陽性ヲ示シタモノハ 1 例 1 回デハ膽囊癌別出後膽汁瘻ヲ作り黄疸初症ヨリ 150 日ヲ經過セルモノデ、2St 後陽性ヲ示シタモノハ 3 例 3 回アツタ。是等モ黄疸初發ヨリ相當ノ時日ヲ經過シタモノデアアル。Albers u. Merten ハ癌黄疸血清 24 例中 22 例陽性非癌性黄疸血清 18 例中陽性例無しト言ヒ、中川内科ノ報告デハ癌血清 8 例中 6 例陽性、非癌デハ 14 例中 11 例陰性ト言フ成績デアアルガ、余ノ實驗成績デハ本反應ハ癌性、非癌性黄疸血清ノ鑑別上益スル所少ナカツタ。又 6St 後、24St 後ト時間的ニ觀察シタ結果デハ 24St 後ニハ癌性、非癌性ヲ問ハズ多クノ黄疸血清ハ Äther 層ノ黄染ガ認メラレタ。又第 1 表ニ見ル如ク本反應ハ黄疸ガ發生シテヨリ日數ヲ經過セル場合程陽性ニ現レ易イ様ニ認メラレコノ事實ハ黄疸ノ性質ノ如何ニ依ラス。又本反應ノ陽性出現ハ黄疸ノ強弱殊ニ B 單位ノ多寡ニモ餘リ關係シナカツタ。本反應ノ對象トナル疾患ハ何レモ赤血球沈降速度著明ニ促進シ、血清ノ高田氏反應モ強陽性ヲ示スモノ多ク兩者共ニ本反應ノ陰陽ト特別ノ關係ヲ認メナカツタ。

結 論

Ascoli 氏反應ハ癌性、非癌性黃疸血清ノ鑑別上益スル所少ク、24St 後ニ於テハ黃疸血清ノ多クハ Äther 層ヲ黃染セシメタ。黃疸發生ヨリ時日ヲ經

過セルモノ程陽性ニ現レ易ク、黃疸ノ強弱ハ關係セヌ。本反應ト血清高田氏反應、又赤血球沈降速度トハ相互間ニ特別ノ關係ヲ認メラレヌ。

其ノ2 其ノ後ノ Kürten 氏竝ニ七條氏血清癌反應ト
 血清ノ高田氏反應

緒 言

先ニ余ハ Kürten ノ血清煮沸法竝ニ七條ノ血清特殊乾燥像ニヨリ癌診斷法ニ對スル實驗成績ヲ發表(本誌第 56 年第 2 號)シ併セテ兩反應ニ就キ少シク檢討ヲ試ミタ。今回ハ其ノ後ノ實驗成績ヲ報告スルト共ニ血清ノ高田氏反應トノ關係ヲ檢シ又輸血ノ兩反應ニ對スル影響ノ如何等ヲモ吟味シテ見タ。

實驗材料竝ニ方法

被檢血清ハ吾教室入院患者ヨリ採取シ、其ノ採血ノ要領竝ニ兩反應ノ實施法ハ總テ前同報告ノ通り故省略スル。血清ノ高田氏反應ノ判定、記載記號ハ其ノ 1 ト同様デアル。

實 驗 成 績

各種疾患ニ於ケル検査成績ノ詳細ハ第 2—5 表ニ記載シテアル。是等ノ表中 Nr. 欄ニ番號ノ記載ナキ例ハ前同報告中加算セルモノ故陰陽性率ノ算定ニ際シテハ除外シタモノデアル。

1) 癌腫ニ於ケル兩反應ノ陽性率

Kürten 氏法ノ場合ハ癌腫總計 114 例、其ノ内陽性 90 例ニテ陽性率 78.9% ヲ得タ。Kürten ノ第 1 型即チ陰性ヲ示シタモノハ 12 例デ、爾餘ノ 12 例ハ余ノ所謂中間型ヲ示シタ。尙ホ今回ノ検査例中過半数ヲ占メタモノハ胃癌デアツテ、67 例中陽性 56 例即チ 83.6% ノ陽性率ヲ示シタ(第 2 表胃癌参照)。

七條氏法ノ場合ハ癌腫總計 112 例、其ノ内陽性

型 79 例ニテ陽性率 70.5% ヲ得タ。中間型ヲ示シタモノ 22 例、陰性型ヲ示シタモノ 11 例デアツタ。第 2 表ノ胃癌 66 例中陽性型ヲ示シタモノ 52 例ニテ 78.8% ノ陽性率デアツタ。

2) 對照疾患ニ於ケル兩反應ノ陰性率

Kürten 氏法ハ 122 例中陰性 103 例ニテ陰性率ハ 84.4% ヲ示シ、第 2 型即チ陽性型ヲ示シタモノ 12 例、中間型ガ 7 例デアツタ。胃十二指腸潰瘍ガ諸種疾患中最モ多数デ 42 例、内陰性 30 例陰性率 71.2% ヲ示シタ(第 4 表参照)。

七條氏法ハ 121 例中陰性 85 例ニテ陰性率 70.2% ヲ示シタ。又中間型 28 例、陽性型 8 例デアツタ。第 4 表ノ胃十二指腸潰瘍 40 例ガ最モ多ク、其ノ陰性例數 25 例デ陰性率 62% デアツタ。

第 2 表 胃 癌

Nr.	姓名	性	年 齡	Kürten 法	七條法	高田反應	備 考
	高 原	♂	65	+		—	
	原	♀	44	+		—	
	池 田	♂	46	—		—	
	折 出	♂	47	+		—	
	椋 代	♂	48	±		—	
	田 中	♀	34	+	+	±	
	間 野	♂	68	+	+	—	
	福 間	♂	58	+	+	—	
	山 内	♂	56	+	+	—	
	白 髪	♂	53	±	+	—	切除不能
	大 山	♂	55	+	+	—	"
	渡 邊	♂	59	+	+	—	
	井 口	♂	47	+	±	+	
	山 本	♂	48	+	+	—	
	沖 居	♂	45	+	—	+	切除不能
	圓 尾	♀	44	+	+	±	"
	川 下	♂	52	+	+	±	
1	脇 谷	♀	54	+	+	±	
2	岡 本	♂	64	+	+	±	(臨牀診斷)
3	蟹 江	♂	54	+	+	—	切除不能

第3表 癌腫 (胃癌ヲ除ク)

Nr.	姓名	性	年齢	Kurt en法	七條法	高田反應	備考
4	藤井太荒川	♀	52	+	+	+	
5	本川田川崎	♀	60	+	+	+	
6	田宅唯本口	♀	43	+	+	+	
7	小橋山瀧	♀	59	+	+	+	
8	田宅唯本口	♀	58	+	+	+	
9	龜三小田	♀	59	-	+	+	切除不能
10	田宅唯本口	♀	42	+	+	+	
11	小橋山瀧	♀	48	+	+	+	切除不能
12	田宅唯本口	♀	62	+	+	+	
13	瀧山瀧	♀	40	+	+	+	
14	田賀木林崎	♀	45	+	+	-	
15	田賀木林崎	♀	37	+	+	+	
16	大鈴小岡	♀	55	+	+	+	
17	小林崎	♀	52	+	+	+	
18	阿部	♀	56	+	+	+	
19	阿部	♀	41	+	+	+	
20	原橋並見	♀	60	+	+	+	(臨牀診斷)
21	高枝淺	♀	53	+	+	+	
22	谷本松野居	♀	56	+	+	+	切除不能
23	永山植伊土	♀	72	+	+	+	
24	谷本松野居	♀	52	+	+	-	切除不能
25	川本本勢原	♀	47	+	+	+	
26	石角豐香有森	♀	55	+	+	+	切除不能
27	寺上小加堀	♀	68	+	+	+	
28	武光杉能石	♀	56	+	+	+	(臨牀診斷)
29	川本本勢原	♀	61	+	+	+	切除不能
30	石角豐香有森	♀	40	+	+	+	
31	寺上小加堀	♀	53	+	+	+	
32	石角豐香有森	♀	43	+	+	+	切除不能
33	寺上小加堀	♀	42	+	+	+	
34	寺上小加堀	♀	41	+	+	+	
35	寺上小加堀	♀	63	+	+	+	
36	寺上小加堀	♀	44	+	+	+	切除不能
37	寺上小加堀	♀	57	+	+	+	
38	寺上小加堀	♀	62	+	+	+	切除不能
39	寺上小加堀	♀	46	+	+	+	
40	寺上小加堀	♀	55	+	+	+	
41	寺上小加堀	♀	52	+	+	+	切除不能
42	寺上小加堀	♀	27	+	+	+	
43	寺上小加堀	♀	59	+	+	+	
44	寺上小加堀	♀	33	+	+	+	切除不能
45	寺上小加堀	♀	44	+	+	+	
46	寺上小加堀	♀	39	+	+	+	
47	寺上小加堀	♀	44	+	+	+	
48	寺上小加堀	♀	52	+	+	+	
49	寺上小加堀	♀	55	+	+	+	
50	寺上小加堀	♀	47	+	+	+	
51	寺上小加堀	♀	62	+	+	+	
52	寺上小加堀	♀	30	+	+	+	
53	寺上小加堀	♀	46	+	+	+	切除不能
54	寺上小加堀	♀	48	+	+	+	
55	寺上小加堀	♀	64	+	+	+	切除不能
56	寺上小加堀	♀	62	+	+	+	
57	寺上小加堀	♀	58	+	+	+	
58	寺上小加堀	♀	56	+	+	+	
59	寺上小加堀	♀	54	+	+	+	切除不能
60	寺上小加堀	♀	50	+	+	+	
61	寺上小加堀	♀	59	+	+	+	
62	寺上小加堀	♀	68	+	+	+	切除不能
63	寺上小加堀	♀	36	+	+	+	
64	寺上小加堀	♀	44	+	+	+	
65	寺上小加堀	♀	37	+	+	+	
66	寺上小加堀	♀	48	+	+	+	
67	寺上小加堀	♀	30	+	+	+	

疾患別	Nr.	姓名	性	年齢	キurlen法	七條法	高田反應	備考
直腸癌	1	三坂根堀鹽	♂	65	+	+	+	
直腸癌	2	宅上木内見	♂	61	+	+	+	
直腸癌	3	坂根堀鹽	♂	60	+	+	+	
直腸癌	4	坂根堀鹽	♂	47	+	+	+	
直腸癌	5	坂根堀鹽	♂	61	+	+	+	
直腸癌	6	松和笠	♀	38	+	+	+	
直腸癌	7	田井崎	♀	40	+	+	+	
直腸癌	8	田井崎	♀	53	+	+	+	
直腸癌	9	上宮	♀	67	+	+	+	
直腸癌	10	上宮	♀	50	+	+	+	
直腸癌	11	藏安山	♀	75	+	+	+	
直腸癌	12	藏安山	♀	60	+	+	+	
直腸癌	13	藏安山	♀	59	+	+	+	
直腸癌	14	藏安山	♀	62	+	+	+	
直腸癌	15	藏安山	♀	55	+	+	+	
直腸癌	16	江野河永山	♀	54	+	+	+	
直腸癌	17	藤島原川脇	♀	63	+	+	+	
直腸癌	18	藤島原川脇	♀	28	+	+	+	
直腸癌	19	藤島原川脇	♀	49	+	+	+	
直腸癌	20	藤島原川脇	♀	55	+	+	+	
直腸癌	21	明石島藤上	♀	60	+	+	+	
直腸癌	22	明石島藤上	♀	57	+	+	+	
直腸癌	23	明石島藤上	♀	57	+	+	+	
直腸癌	24	明石島藤上	♀	58	+	+	+	
直腸癌	25	明石島藤上	♀	60	+	+	+	
直腸癌	26	明石島藤上	♀	59	+	+	+	
直腸癌	27	明石島藤上	♀	69	+	+	+	
直腸癌	28	明石島藤上	♀	42	+	+	+	
直腸癌	29	明石島藤上	♀	51	+	+	+	
直腸癌	30	明石島藤上	♀	53	+	+	+	
直腸癌	31	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	32	明石島藤上	♀	64	+	+	+	
直腸癌	33	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	34	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	35	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	36	明石島藤上	♀	53	+	+	+	
直腸癌	37	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	38	明石島藤上	♀	64	+	+	+	
直腸癌	39	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	40	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	41	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	42	明石島藤上	♀	53	+	+	+	
直腸癌	43	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	44	明石島藤上	♀	64	+	+	+	
直腸癌	45	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	46	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	47	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	48	明石島藤上	♀	53	+	+	+	
直腸癌	49	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	50	明石島藤上	♀	64	+	+	+	
直腸癌	51	明石島藤上	♀	45	+	+	+	
直腸癌	52	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	53	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	54	明石島藤上	♀	53	+	+	+	
直腸癌	55	明石島藤上	♀	42	+	+	+	
直腸癌	56	明石島藤上	♀	54	+	+	+	
直腸癌	57	明石島藤上	♀	71	+	+	+	
直腸癌	58	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	59	明石島藤上	♀	64	+	+	+	
直腸癌	60	明石島藤上	♀	32	+	+	+	
直腸癌	61	明石島藤上	♀	56	+	+	+	
直腸癌	62	明石島藤上	♀	60	+	+	+	
直腸癌	63	明石島藤上	♀	52	+	+	+	
直腸癌	64	明石島藤上	♀	75	+	+	+	
直腸癌	65	明石島藤上	♀	24	+	+	+	
直腸癌	66	明石島藤上	♀	66	+	+	+	
直腸癌	67	明石島藤上	♀	59	+	+	+	
直腸癌	68	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	69	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	70	明石島藤上	♀	63	+	+	+	
直腸癌	71	明石島藤上	♀	42	+	+	+	
直腸癌	72	明石島藤上	♀	61	+	+	+	
直腸癌	73	明石島藤上	♀	42	+	+	+	
直腸癌	74	明石島藤上	♀	42	+	+	+	
直腸癌	75	明石島藤上	♀	40	+	+	+	
直腸癌	76	明石島藤上	♀	22	+	+	+	
直腸癌	77	明石島藤上	♀	70	+	+	+	
直腸癌	78	明石島藤上	♀	58	+	+	+	
直腸癌	79	明石島藤上	♀	70	+	+	+	
直腸癌	80	明石島藤上	♀	70	+	+	+	

皮下、骨轉移
 Nr. 4ノ半年後局所再發
 官腸上行結腸
 淋巴肉腫
 頸下部
 後腹膜淋巴腺
 骨肉腫
 淋巴肉腫
 後腹膜淋巴腺

第5表 諸種疾患

疾患別	№	姓名	性	年齢	キ ユ ル テ ン 法	七 條 法	高 田 反 應	備 考
慢性胃炎	1	山口	♂	37	—	—	—	(臨牀診斷)
	2	小川	♀	56	—	—	—	
	3	本江	♀	52	—	—	—	
	4	竹内	♀	33	—	—	—	(臨牀診斷)
	5	竹内	♀	24	—	—	—	
膽石症	6	中野	♀	39	—	—	—	移動性盲腸合併
	1	金高	♂	57	—	—	—	
	2	吉光	♂	56	—	—	—	
	3	小橋	♂	58	—	—	—	
	4	末利	♂	58	—	—	—	
膽囊炎	5	東院	♂	49	—	—	—	
	6	平木	♂	59	—	—	—	
	1	黒田	♀	34	—	—	—	
脾臓腫大	2	金田	♀	30	—	—	—	
	3	宇野	♀	37	—	—	—	
脾臓腫大	1	小重谷	♀	34	—	—	—	
	1	小重谷	♀	14	—	—	—	
肝臓腫大	1	岡	♀	56	—	—	—	
	2	近藤	♂	64	—	—	—	
	3	早野	♂	17	—	—	—	
脾臓腫大	1	小田	♀	21	—	—	—	
	2	山下	♀	35	—	—	—	
腎臓腫大	1	橋本	♀	36	—	—	—	
	1	村上	♀	15	—	—	—	(臨牀診斷)
腎臓腫大	1	谷川	♂	61	—	—	—	
	1	漢	♂	38	—	—	—	腹膜炎
腸重積症	1	瀧宮	♂	43	—	—	—	
	2	竹内	♂	69	—	—	—	
慢性腸炎	1	藤田	♂	64	—	—	—	(臨牀診斷)
	1	赤本	♂	21	—	—	—	蟲垂炎手術後
慢性腸炎	1	平友	♀	48	—	—	—	(臨牀診斷)
	2	藤井	♀	48	—	—	—	
慢性腸炎	2	佐藤	♂	38	—	—	—	
	1	松本	♂	19	—	—	—	
慢性腸炎	1	李田	♂	29	—	—	—	
	1	林	♀	37	—	—	—	
慢性腸炎	1	元廣	♂	52	—	—	—	
	1	平岡	♂	17	—	—	—	
慢性腸炎	1	矢定	♂	3	—	—	—	
	1	横井	♀	52	—	—	—	
慢性腸炎	1	宮寺	♀	52	—	—	—	
	2	松重	♀	49	—	—	—	
慢性腸炎	3	岡田	♀	27	—	—	—	
	4	時實	♂	48	—	—	—	
バセドウ氏病	1	野間	♀	18	—	—	—	
	2	高原	♀	33	—	—	—	
	3	宮澤	♀	54	—	—	—	
	4	池谷	♀	35	—	—	—	
慢性腸炎	1	松本	♀	34	—	—	—	
	2	土居	♀	47	—	—	—	
慢性腸炎	3	岡田	♀	44	—	—	—	
	4	清水	♀	46	—	—	—	
慢性腸炎	5	高村	♀	48	—	—	—	
	1	藪本	♀	21	—	—	—	
皮膚病	1	上原	♀	17	—	—	—	

第4表 胃、十二指腸潰瘍

Nr.	姓名	性	年齢	キ ユ ル テ ン 法	七 條 法	高 田 反 應	備 考
	山横	♂	47	—	—	—	
	本邊	♂	45	—	—	—	
	居木	♂	46	—	—	—	
	中野	♂	37	—	—	—	
	高野	♀	36	—	—	—	
	好道	♂	35	—	—	—	(臨牀診斷)
	屋宅	♂	41	—	—	—	
1	三小	♂	61	—	—	—	
2	古三	♂	44	—	—	—	
3	赤木	♀	45	—	—	—	
4	中平	♂	51	—	—	—	Cal
5	岡田	♂	52	—	—	—	Cal
6	岡田	♂	54	—	—	—	MdD
7	岡田	♂	55	—	—	—	(臨牀診斷)
8	有森	♂	63	—	—	—	
9	角小	♀	51	—	—	—	Cal
10	藤井	♀	55	—	—	—	Cal
11	吉田	♂	47	—	—	—	Cal
12	山田	♂	35	—	—	—	12
13	阿河	♀	48	—	—	—	
14	橋本	♂	36	—	—	—	
15	賀川	♂	54	—	—	—	
16	本小	♂	39	—	—	—	
17	西井	♂	47	—	—	—	{肝臓性幽門部潰瘍ノ被覆穿孔幽}
18	山三	♀	27	—	—	—	
19	下丸	♀	41	—	—	—	Cal
20	藤井	♂	41	—	—	—	12
21	加藤	♂	37	—	—	—	
22	福路	♂	38	—	—	—	(臨牀診斷)
23	山久	♂	39	—	—	—	
24	新江	♂	57	—	—	—	Cal
25	谷津	♂	32	—	—	—	MdD
26	下松	♂	47	—	—	—	
27	田田	♂	41	—	—	—	
28	藤田	♂	43	—	—	—	12
29	内藤	♂	21	—	—	—	12
30	坂田	♂	37	—	—	—	12
31	山田	♀	52	—	—	—	12
32	杉木	♀	51	—	—	—	12
33	山本	♀	57	—	—	—	12
34	清水	♂	66	—	—	—	12
35	岡田	♂	61	—	—	—	12
36	田田	♂	45	—	—	—	12
37	倉田	♂	43	—	—	—	12
38	藤城	♂	40	—	—	—	12
39	高色	♂	44	—	—	—	Cal
40	一杉	♂	46	—	—	—	
41		♂	36	—	—	—	12
42		♂	47	—	—	—	

疾 患 別	Nr.	姓 名	性	年 齢	キ ュ ル テ ン	七 條 法	高 田 反 應	備 考
脂 肪 腫 織 維 腫 齒 根 囊 陰 囊 腫 陰 瘻	1	並 根	♂	36	—	—	—	
	1	栗 原	♀	24	—	—	—	
	1	藤 原	♂	55	—	—	—	
肋 膜 周 圍 膿 瘍 頸 淋 巴 腺 結 核 結 核 性 胸 膜炎	1	永 谷	♂	20	—	—	—	
	1	永 谷	♂	34	—	—	—	
	1	中 村	♂	22	—	—	—	
流 注 膿 瘍 破 傷 風 症 放 線 菌 症 敗 血 症 膿 血 症	1	木 村	♂	27	—	—	—	
	1	吉 田	♂	25	—	—	—	
	2	田 中	♂	30	—	—	—	
單 純 性 淋 巴 腺 炎 骨 髓 炎 蜂 窩 性 炎 疽 特 發 性 脫 疽	1	藤 井	♂	30	—	—	—	
	1	奥 山	♀	46	—	—	—	
	1	脇 本	♂	42	—	—	—	
痔 瘻 多 發 性 關 節 炎 坐 骨 神 經 痛 腦 震 盪	1	枝 本	♂	44	—	—	—	
	2	野 口	♀	13	—	—	—	
	1	寺 岡	♂	19	—	—	—	
腫 腫 腫 腫 瘻	1	富 谷	♂	36	—	—	—	
	2	佐 藤	♀	24	—	—	—	
	1	岡 本	♂	23	—	—	—	
癩 瘻 多 發 性 關 節 炎 坐 骨 神 經 痛 腦 震 盪	2	鈴 木	♂	60	—	—	—	
	2	田 中	♂	64	—	—	—	
	1	松 下	♂	17	—	—	—	
癩 瘻 多 發 性 關 節 炎 坐 骨 神 經 痛 腦 震 盪	1	黒 田	♀	34	—	—	—	
	1	大 下	♂	18	—	—	—	
	1	大 村	♂	39	—	—	—	

以上 1), 2) = 於ケル實驗成績ノ陽性率ハ中間型ヲ陰性ト見做シ、陰性率ハ陽性ト見做シテ計算シタ。

3) 癌腫 = 於ケル兩反應ノ合致率

兩反應ヲ並行的 = 檢シ得タ癌腫 112 例 = 就キ其ノ合致率ヲ求メタ所 59.8% 即チ 67 例ガ兩反應共 = 陽性 = 現レタ。尚ホ兩反應ノ何レカ一方ガ陽性 = テ他ガ中間型ヲ示シタモノガ 26 例アリ、今之ヲ兩方共陽性デアツダ 67 例ト合スルト 93 例 = テ全體ノ 83% ヲ示シタ。又癌腫 = テ兩反應共 = 陰性ノモノガ 5 例アツタ。

	Kürten 氏 法		
	+	±	-
七條氏法	67	10	2
+	16	1	5
±	5	1	5
-			

4) 兩反應ト血清高田反應

兩反應ト血清ノ高田反應ヲ並行的 = 檢シテ見タ。詳細ハ第 2—5 表 = 記載シタ。今高田氏反應ノ強弱ト兩反應ノ陰陽トノ關係ヲ一括シテ表記スルト次ノ通りデアル。表中 () ヲ附サナイモノハ癌腫デ、() 内ハ對照疾患ノ場合デアル。

	高 田 氏 反 應				
	卅	卅	+	±	-
キユルテ ン氏反應	4(0) 0 0 0 (2)	12 (5) 3 (0) 3(15)	37 (3) 6 (4) 2(31)	24 (0) 1 (1) 1(17)	21 (6) 4 (1) 4(21)
七條氏反 應	0 (0) 4 (1) 0 (1)	10 (2) 5 (7) 3(11)	32 (2) 8(10) 4(26)	20 (2) 4 (5) 1 (9)	23 (3) 3 (4) 3(19)

Kürten 氏反應ト高田反應

癌例 = テ高田反應ガ中等度(卅)以上 = 陽性 = 出タ例ガ 22 例デ内 Kürten 陽性ガ 16 例、弱陽性(+)ガ 45 例デ内 Kürten 陽性ガ 37 例、準陽性 26 例内 Kürten 陽性ガ 24 例、陰性ガ 29 例内 Kürten 陽性ガ 21 例デアツタ。對照例デ高田ガ(卅)以上 = 出タ例ガ 22 例デ内 Kürten 陰性ガ 17 例、(+)ガ 38 例デ内 陰性ガ 31 例、(±)ガ 18 例内 陰性ガ 17 例、(-)ガ 28 例内 陰性ガ 21 例デアツタ。之ヨリ見ルモ高田反應ノ強弱ト Kürten 反應ノ陰陽トノ間 = 並行關係ハ認メラレナカツタ。

七條氏反應ト高田反應

癌例 = テ高田反應ガ(卅)以上ヲ示シタモノ 22 例デ内七條陽性ガ 10 例、(+)ガ 44 例内陽性ガ 32 例、(±)ガ 25 例内陽性ガ 20 例、(-)ガ 29 例内陽性ガ 23 例デアツタ。對照例 = テ高田ガ(卅)以上ノモノガ 22 例内七條陰性ガ 12 例、(+)ガ 38 例内 陰性ガ 26 例、(±)ガ 16 例内 陰性ガ 9 例、(-)ガ 26 例内 陰性ガ 19 例ヲ示シタ。即チ七條氏法ノ場合モ Kürten 氏反應ト同様 = 高田反應トノ間 = 並行關係ハ認メ得ナカツタ。

5) 輸血ノ兩反應 = 及ボス影響

輸血ガ兩反應ノ陰陽出現 = 影響ヲ及ボスカヲ知

ラントシ、200—800ccノ比較的多量ノ輸血ノ前後
 =兩反應ヲ試ミテ見タ。

癌症例ハ胃癌 10 例直腸癌 1 例ニテ 200—500cc
 輸血後ノ兩反應ヲ見ルニ第 6 表ノ如ク、Kürten
 法ハ 2 例ノ胃癌ニテ輸血前明カニ陽性ノモノガ輸
 血後中間型ヲ呈シタ、其ノ他對照デハ何レモ輸血

前後ニ變化ヲ認メナカッタ。七條法ハ同ジク癌
 11 例中 4 例ニ變動ヲ認メタ。即チ陽性型ヨリ中
 間型ニ變ツタモノ 2、中間型ヨリ陽性型ニ 1、陰性
 型ヨリ中間型ニ 1 例デアリ。又七條法デハ對照 4
 例中 2 例ニ於テ中間型ヨリ陰性型ニ變ツタ。

第 6 表

疾患別	Nr.	姓名	性	年 齡	輸血前		輸血量 (cc)	輸血後		備考
					キ ニ ル テ ン 法	七 條 法		キ ニ ル テ ン 法	七 條 法	
胃 癌	1	藤本	♀	52	+	+	200	+	+	
"	2	江田	♂	54	+	+	"	+	+	
"	3	蟹田	♂	48	+	+	"	+	+	
"	4	小坂手	♂	46	+	+	"	+	+	
"	5	上高	♂	55	-	-	"	-	+	
"	6	小松原	♂	52	+	+	350	+	+	
"	7	野松	♂	67	+	+	500	+	+	
"	8	小野	♂	57	+	+	300	+	+	
"	9	小野田	♂	46	+	+	500	+	+	
"	10	小原	♀	30	+	+	400	+	+	
十二指腸潰瘍被覆穿孔	11	小川	♂	47	+	+	400	+	+	
肝臓性胃潰瘍	12	小齋	♂	44	+	+	800	+	+	
十二指腸潰瘍	13	倉田	♂	40	-	-	600	-	-	
膽石	14	倉未	♀	58	-	-	200	-	-	
直腸癌	15	桑田	♂	62	+	+	300	+	+	

總括竝ニ考按

Kürten 氏血清煮沸法、七條氏血清特殊乾燥像
 =ヨル癌診斷法ハ非特異反應デハアルガ實施ガ頗
 ル簡便デ臨牀上應用シ得ル法デアル事ハ前回報告
 シタ。其ノ後引續キ兩反應ヲ追試シタ成績ヲ今回
 一括シタ。

Kürten 法ハ癌 114 例デ陽性型ヲ示シタモノハ
 90 例デ、78.9%ノ陽性率ニテ前回ノ 78.1%ト全
 タ同ジデアツタ。對照疾患 122 例中陰性型 103 例
 デ、84.4%ノ陰性率ヲ示シ前回ノ 87.6%ト大差ナ
 カッタ。平均適中率モ 81.6%デ前回ノ 82.8%ト
 殆ド同ジデアリ。

七條氏法ハ癌 112 例ノ内陽性型 79 例デ陽性率
 70.5%デ前回ノ 72.2%ト大差ナク、對照 121 例デ

ハ陰性型 85 例デ陰性率 70.2%ヲ示シ前回ノ 69.2
 %ト大差ナク、平均適中率モ 70.3%デ前回ノ 70.7
 %ト同様デアツタ。

次ニ比較の症例ノ多カッタ胃癌ト胃十二指腸潰
 瘍ニ就テ見ルニ、Kürten 氏法ノ胃癌ノ陽性率
 83.6%、七條法ハ 78.8%デ前同ノ各々 84.9%、80
 %ニ比較シ大差ナク、潰瘍ノ陰性率ハ Kürten 法
 71.2%、七條法 62%デ前同ノ各々 78.6%、54.5%
 ニ比較スルト前者デハ少シク低下シタガ後者デハ
 向上シタ。

血清ノ高田反應ハ肝機能障礙時血清中 Globu-
 lin 分割ノ一方の増強ニヨル絮狀析出ヲ利用スル
 モノデアリ、癌患者ニ於テハ屢々肝機能障礙ハ認
 メ得ル所デアリ、兩癌反應ト高田反應ヲ並行的ニ

検査シテ見タガ高田反應ノ強弱ト兩反應ノ陰陽出現ノ間ニハ何等特別ノ關係ガ認メラレナカツタ。

次ニ輸血 200—800cc 後ノ兩反應ノ變動ヲ癌 11 例對照 4 例ニ就キ檢シタガ Kürten 法デハ、癌 2 例ニテ陽性ヨリ中間型ニ變リ、七條法デハ癌 4 例對照 2 例計 6 例ニ變動ヲ認メタ。輸血ニ依ツテハ七條氏法ハ變動シ易ク、Kürten 法ガ稍々安定デアルガ、斯ル處置ヲ行ツタ後反應ヲ檢シテハ正確ヲ期シ難イノハ勿論デアル。

以上兩反應ノ陰陽出現率何レモ前同ト大差ナク略ボ一定シタ成績ヲ示シ、實施ガ容易デ臨牀上簡便ニ利用シ得ル癌反應デアル。實施ニ際シテハ輸血等ノ處置ヲ行ハヌ内デナケレバ正確デナイ。

結 論

- 1) 癌腫 11 例ニ於ケル Kürten 氏血清煮沸法

ノ陽性率ハ 78.8% デ、對照 122 例ノ陰性率ハ 84.4% デ適中率 81.6% ヲ得タ。癌腫 112 例ニ於ケル七條氏特殊乾燥像法ノ陽性率ハ 70.5% デ、對照 121 例ノ陰性率ハ 70.2% デの中率 70.3% ヲ得タ。的中率ニ於テ前者ガ稍々勝ツタ。又兩反應ノ合致率ハ 59.8% ナルモ一方ガ陽性、片方ガ中間型ヲ示シタモノヲ合スルト 83% トナツタ。

2) 輸血後ノ血清ニ由ル時ハ兩反應ノ成績稍々變動ヲ見ルガ Kürten 氏法ノ方ガ比較的安定シタフル。從テ斯ル處置ヲ行ハヌ内ニ檢スベキデアル。

3) 血清ノ高田氏反應ノ強弱ト兩反應ノ陰陽ト間ニハ特別ノ關係ガ認メラレナイ。

筆筆ニ當リ不斷ノ御指導ト御校閲ノ勞ヲ賜ツタ恩師津田先生ニ心カラ感謝ヲ捧ゲル。

文 獻

- 1) *Albers & Merten, Z. Krebsforsch.* 46, 375, 1939. 2) 中川内科, 日内會誌, 第28卷, 第37

回總會演說. 3) 横田, 岡醫雜, 第54年, 第2號.

(特掲 昭和 19 年 3 月 4 日受稿)